

# 「被害者」が「犯罪者」に!?

# 白バイ免罪①

## 最新インタビュー!!

「無罪」を訴えながら  
禁錮1年4月の実刑判決を終えて・・・

高知白バイ事件  
片岡元運転手 出所後インタビュー

聞き手 柳原三佳(ジャーナリスト)

やなぎはらみか●主に交通事故事件をテーマに取材・執筆活動、テレビ出演などを行なう。04年からは日本の死因究明制度問題に関する記事も発表し続け、犯罪捜査の根幹に「石を投じた」。主な著書に『交通事故被害者は一度泣かされる』『死因究明と葬られた眞実』『自動車保険の落とし穴』『焼かれる前に語れ』など多数。

高知白バイ事件

を取材してきたジャーナリスト  
ト・柳原三佳がインタビューし  
た。

本誌既報の『高知白バイ事件』。「白バイとの衝突時、バスは停止していた」と主張し、終始一貫、無罪を訴え続けてきた運転手の片岡晴彦さんだつたが、最高裁は上告を棄却し、2008年8月、禁錮1年4月の実刑判決が確定。同年10月、刑務所に収監された。そして2010年2月、488日間の刑務所生活をえて出所。片岡さんは今何を思うのか...。本件



い出します。なんだか、ついこの間のようだ。とても昔のようだな...。片岡さんの率直な印象は?

片岡 いやあ、長かったです。本当に長かったです。

柳原 仮釈放の話は、少しくらい一緒にさせていただき、高知県特有の「献杯」や「返杯」のしきたりを教えてもらつたことを思

だと思います。

### 「免許取り消し処分」に異議を唱えられぬまま

片岡 いえ、まったく出ませんでした。仮釈放の場合には反省文などを書かないといけないわけですが、もし早く出られるからと言っても、反省文の書きようがないので...。

柳原 たしかに、そうですね。ほとんどの交通事故は不幸な偶然が重なつて起るもので、いつだ、それがその当事者になるかわかりません。でも、事故の相手がたまたま警察だったというだけで、今回のように納得できない罪を着せられて刑務所に入られてしまうこともあるなん...。つくづく恐ろしいこと

となるとは思つてもみませんでした。

柳原 その後、片岡さんと初めて電話でお話ししたとき、私は、「もし、冤罪であることを真剣に世に訴えるなら、一審判決が出る前、今“しかありませんよ”とお話ししました。でも、あの頃の片岡さんは、亡くなつた白バイ隊員の奥さんと幼いお子さんのことを、大変気にしておられました。自分としては何をひ力を貸してほしい」という内容でした。片岡さんはちょうどその4か月前に業務上過失致死罪で正式に起訴され、刑事裁判の途中でした。

片岡 そうです。あの当時は自分で、衝突の時、バスが止まつていたということだけははつきりしていたので、まさかこんなこ

とになるとは思つてもみませんでした。

の1年4ヶ月間、仮釈放なしで、禁錮刑を満了されたわけですね。片岡元運転手、刑務所の中におどりました。柳原 収監されてからすぐにお手紙もいただきましたね。どうもありがとうございました。片岡 あの時分には精神的にまともじやなかつたので、おかしなことを書いていたかもしれません。

柳原 結局、2008年10月23日から2010年2月23日まで柳原 片岡さん、このたびは本当に疲れました。

片岡 ありがとうございます。柳原 それはもう、自由の素晴らしさですね。とにかく、自由ほど贅沢なものはないと思いまして。

柳原 片岡さん、このたびは本当に疲れました。

片岡 ありがとうございます。

柳原 片岡さん、このたびは本当に疲れました。

</



検証写真を見ながら事件について語る片岡さん

で、やはり、指示した人に謝罪を求めるといです。

### 加古川刑務所 3畳の「単独室」 での暮らし

柳原 収監の日、高知地検の入り口で支援者の方々に手を振りながら、建物の中に入っていました。あの後はどんな流れました。あの後はどんな流れました。ある高知刑務所に収監されました。

片岡 すぐには護送車に乗せられて、車で2~30分ほどの距離にある高知刑務所には19日間いました。高知刑務所には19日間いました。それから兵庫県の加古川刑務所のほうに移送されたんです。

柳原 加古川刑務所は、交通関係の受刑者が多いんですよ。

片岡 そうですね、でも、入所時の説明ビデオを見ていると、覚醒剤、大麻、アルコール

を受け入れておられましたよね。

片岡 当初から、警察の言うような「バスの飛び出し」という事故のかたちは認めていませんでしたし、自分が悪い事故ではないと思ってはいましたが、やはり、遺族のことを考えたら気の毒で、1円でも多く賠償金を受け取ってほしいと思っていたのは事実です。だから、行政処分も甘んじて受けようとした

ただ、今思えば、免許取り消し处分に異議を唱えなかつたこと

で、警察や検察には自分の過失を積極的に認めたというふうに映つたのだと思ひます。

柳原 遺族を思いやる片岡さんの気持ちが、裏目に出たという感じであります。

片岡 今思えば、それがすべての始まりだったような気がします。行政処分はしかたないとしても、やはり、刑事裁判の一審

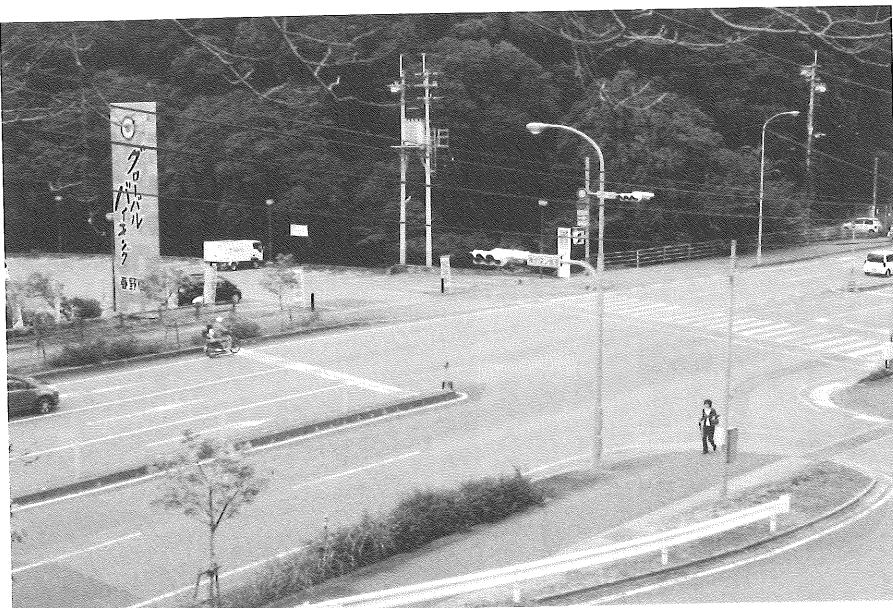
判決が出るまでにもう少し動いていれば、結果はまた違つていかかもしれませんと……。だから私は今でも、あのときミカさんにお話をしたことを、忘れることができるんです。ただ、今回の刑事裁判で、「バスが止まつているところに白バイが突っ込んだことに対する実刑を言い渡されたのなら、私は控訴せずに、そのまま刑務所へ行くつもりでした。でも、判決文に書かれた事故の事実が違う以上それを認めるわけにはいきませんでした。どうしてあれだけのブレーキ痕跡がついたのか?裁判官には納得できる説明がほしいのです。でないと、何年経っても納得できないと思います。

柳原 そういうえば、片岡さんが収監中に、足利事件の菅家さんの冤罪がDNA鑑定によって明

らかになり、釈放されるといふ出来事があつたんですが、ご存知でしたか?

片岡 はい、刑務所の中で新聞は読めましたので。殺人などしていないので、17年間も刑務所に入れられて……。すごい、というより、かわいそうという気持ちが先に湧いてきました。私なんて、1年4ヵ月でボロボロになつたのに、17年もの長い間、どんな気持ちだつただろうと。柳原 菅家さんは、検察官に謝罪してほしいとおしゃっていましたが、片岡さんの場合は、今、誰に謝つてももらいたいと思つておられますか?

片岡 それは、一言で言えるようなのではないですが、あのブレーキ痕が本当に後から描かれていたとするなら、それを指示した人物ですね。実際にやつた人も、やりたくてやつたのではないかかもしれないと思うの



事件現場の現在の状況

についている小さな窓、という

か、扉のことですよね。

**片岡** そうです。食器が入るく

らいの大きさなのですが、房の

扉自体は開けずに、そこから食

事や本などが受け渡されるんで

す。そして、それぞれの受刑者

につけられた照合番号を唱えて

ご飯とおかずを受け取り、7時

頃には朝食開始。終わったら食

器を洗い、食器口に戻す、とい

う流れです。

**柳原** 刑務所の中では、名前で

はなく、番号で呼ばれるのです

か?

**片岡** はい、私の場合、加古川

では934番、高知では720番

と呼ばれていました。

**柳原** 朝食が済んだら次は何

を?

**片岡** 作業のある人は準備をし

て作業場へ向かいります。ただ、

私は禁錮刑だったので、房の中

で何もしないで、ずっと座りつ

いて、運動で、あとは座りっぱなしと

いうことになると、どうしても

運動不足になりますよね。

**片岡** 動けないというのは、き

つかつたですね。この1年4カ

月の間にかなり筋肉が落ち、体

力もなくなりました。

**柳原** 午後からはどんな生活を

されていたんですか。

**片岡** 12時に昼食の配せんが始

まり、食器口から運び込まれま

す。その後は、朝食と同じ流れ

で、また単独室で座り続けます。

**柳原** 5時前にもう夕食です

か?

**片岡** そうなんです。4時45分

くらいには夕食が済んでしま

うので、それ以降は余暇時間とな

ります。でも、冬は暖房がない

ばかりでしたね。

**柳原** 一人部屋、つまり独居房

だったのですか?

**片岡** そうです、入所から釈放

まで、ずっと3畳の単独室に入

れられていました。数か月ごと

に別の部屋と交替はするんですけど、最後まで単独室は変わりま

せんでした。

**柳原** 座りっぱなしと言つても、本を読んだりすることくらいはできるのですよね。

**片岡** はい、他の受刑者が作業をしている間は、本を読むことだけは許されました。

## ■ 檻の中でのウォーキング

**柳原** 何もしないで座つているだけですか……。

**片岡** そうです。ただ、晴れの日は10時になつたら運動の時間ということで、独居房から出さ

**片岡** 歩いてみたら部屋1周20

**柳原** しかし、1日20分だけの

ため寒いので身体を起こしていられず、5時には布団の中に入ります。ようするに、翌朝の起床まで約13時間半横になりっぱなし、ということです。F Mラジオだけは、夕方5時半から9時まで房のスピーカーから流れてくるのですが、選局はできません。横になつた状態では本を読むことも許されませんし、とにかく夜の時間が退屈で、長かったです。

**柳原** 夕食後、フリースペース

に出ていくことは許されなかつたのですか?

**片岡** はい、私の場合、一切そ

ういうことはできませんでし

た。唯一の楽しみは、週に二回、

月曜と金曜の風呂でしたね。小

さなユニットバスに、一人ひとりで入るのですが、これもいろいろ制限があつて、入浴時間は15分、お湯かけは14杯までと決

まっていました。

にも、人間として24時間のぞかれ、監視され、独居房の窓から青空は見えるけれども、外へは出られない……。

**柳原** お風呂に入つているときも、やはり看守が見張つているのですか。

**片岡** もちろんです。刑務所の中では、監視がない、という時間は全くなかつたと言つていいでしょう。単独室にいるときでも、頻繁に回つてきていましたから。

**柳原** 24時間監視をされる生活でしたね。冬はとにかく寒かつた、手のひらがかじかんで、だんだん痺れた状態になつてくるのでお茶の配給があつたら、それをポットからやかんに移して、そこに手を当てて暖をとつていました。刑務所ではそれしか暖をとる術がないんです。あとは、配給された3枚の毛布と布団にくるまつて寝るだけ。毛



布をかけて寝ていると、それなりに暖かかったです。窓は夏は夏で、暑かったです。窓は

よつとは入るんですが、それで網戸になつてるので、風もち配つてくれたのが、唯一、涼をとる手段でしたね。

柳原 刑務所内の買い物は?

片岡 便箋、封筒、ボールペン、写真立てなどを買いました。下着、長袖のシャツ、運動靴、その他日用品を買うことができるのですが、私の場合は、刑務所が揃えてくれるもので足りました。

柳原 刑務所内での事故は?

片岡 片岡さんは刑務所でクリスマスとお正月を2回経験されているわけですが、そういうときには何か特別なことがあるのですか?

片岡 クリスマスはなんもありませんが、正月には三が日のお菓子とおせち料理の折詰、そして

お雑煮が出ました。でも、たったひとりで食べるおせち料理は、本当に寂しかったです。

「自分は“犯罪者”そう割り切ることにした」

柳原 片岡さんの場合、事故直後から終始一貫無罪を訴えておられました。それなのに、どうして自分がこんなところに入れられなければならなかつたのか? そんな悔しさに押しつぶされそうになつたことはありますでしたか?

柳原 たしかに最初のうちは、何で自分が? そう思つて、苦しんでいました。でも、この先、1年4ヶ月もの間、そればかり思い続けたら自分自身が辛いので、考え方を変えたんです。どうせここで暮らすなら、『自分は犯罪者だ』そう割り切つて、気持ちを入れ替えて、亡く

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。それでないと、自分自身、あの生活には耐えられなかつたと思い

ます。

柳原 それにしても、最初から最後までずっと独居房で、自由時間も全くなかつたことには驚きました。以前、交通事犯の受刑者だけを収容している市原刑務所を見学したのですが、ここはごく一部を除いて、窓の格子も扉の施錠もありませんし、刑務所自体に高い塀がなく、ただ金網のフェンスで囲われているだけ、いわゆる「開放的処遇」が行われていました。作業を終了した平日の夕方や作業がない土曜、休日は自由時間があつて、テレビ、ラジオ視聴、談話、学習や手紙を書いたりするほかに、各種クラブ活動、スポーツ行事などに参加して有意義な時間を過ごすよう指導していると

か。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られる前の高知刑務所では、20人くらいがひとグループになった団体行動で、食事も一緒に風呂も一緒、部屋は独居房でしたが、自由時間もあつて受刑者同士で話をすることもできました。ところが、11月11日に加古川へ移送され、その後にテレビで高知白バイ事件を取り上げたドキュメンタリー番組が12月1日に放映されるという予告編が流れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での対応が?

柳原 はい。実は、禁錮刑でも希望すれば刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまりにも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後にテレビで

高知白バイ事件を取り上げたド

キュメンタリー番組が12月1日

に放映されるという予告編が流

れました。それがきっかけで、私への対応が急に変わったように思います。

片岡 刑務所内での仕事が

なつた白バイ隊員の方の冥福をお祈りながら過ごそうと……。そ

いるそうです。片岡さんも、交

通事犯の受刑者なのに、あまり

にも待遇が違います。

片岡 ほかの刑務所のことは分

かりませんが、加古川に送られ

る前の高知刑務所では、20人く

らいがひとグループになった団

体行動で、食事も一緒に風呂も

一緒、部屋は独居房でしたが、

自由時間もあつて受刑者同士で

話をすることもできました。

ところが、11月11日に加古川へ

移送され、その後

**柳原** 結局何を注文されたんで  
**片岡** 娘が「お父さん、これが  
美味しいよ」と言って、ハンバ  
ーグランチを注文してくれまし  
た。食事の後に、ホットのコー  
ヒーが出てきたとき、これで生  
き返った気がしました。温かい  
コーヒーというのは、本当に生  
理的に落ち着けてくれるものだ  
と、あのとき本当にそう思いま  
したね。

**片岡** そうです。出所したこと  
が現実だと思えず、収監される  
前の場面の中にいるような感覚  
になるみたいですね。

**柳原** ご自宅に戻られての生活  
はいかがですか。

**片岡** 戻ってきたあくる日か  
ら、新聞配達に出かけました。  
でも、筋肉が落ちて、体力的に  
もかなり弱っているんでしょう  
ね、走ったり、坂道や階段を駆  
け上ると息が切れて、汗がべ  
つたり出で。それでも仕事が

**片岡** 信じられない思いがしましたね。でも、女房や娘たちは、なぜか1年4か月前の場面に引き戻されるようで、何度も何度も「お父さん、また行くんや」「いつ連れて行かれるんやろー」と言つっていました。

**片岡** 信じられない思いがしましたね。でも、女房や娘たちは、なぜか1年4か月前の場面に引き戻されるようで、何度も何度も、「お父さん、また行くんや〜」「いつ連れて行かれるんやろ〜」と言つっていました。

**柳原** もう一度刑務所に連れて行かれるかもしれない、ということですか？

**片岡** そうです。出所したことが現実だと思えず、収監される前の場面の中にいるような感覚になるみたいですね。

**柳原** ご自宅に戻られての生活はいかがですか。

**片岡** 戻つてきましたあくる日から、新聞配達に出かけました。

柳原 出所された翌日には、初孫さんもお生まれになつたとか。片岡 そうなんです。長男のところに子供が産まれましてね。ちょうどその連絡が入つたとき、支援者が人が50人くらい集まつて出所祝いをしてくれていたんですが、おかげでみんなにそのことも報告できて、それが一番嬉しかったですね。健康な身体で家に戻ることができ、その上、家族が一人増えてこの日を迎えるられて、自分ほどの幸せ者はおらんのではないかと思っています。いろいろなことがありますましたが、前向きに生きていました。前向きに生きていらました。孫さんもお生まれになつたとかないといけないと。

**今一番心配なのは  
白バイ隊員の遺族のこと**



2008年、収監直前にバスの走行実験を行った片岡さん

**片岡** はい、女房と二人でお参りさせていただきました。私は、この事故で亡くなつた白バイ隊員の奥さんや幼い子供たちが、本当の意味で一番の被害者だと思つています。この事故がこのような騒ぎになつていて、それを、いつか、物心ついた子供たちが知つたとき、彼らがどんな思いを抱えていくのか、今はそれが一番心配なんです。決して、亡くなつたお父さんが悪いんじゃない、私たちが問題にしているのは、警察の捜査、警察組織の在り方だということを、わかつてほしいと思っています。とにかく、子供たちがまじめにまづすぐに育つてほしい、それだけを祈っています。

出で後も見て食んだ  
ホット「コーヒーで  
生き返った」

が、いろいろ規制があつて大変監されるような罪を犯していな  
だつたのですね。でも、考えて  
みれば、片岡さんは刑務所に收  
められたから客観的に見ても、罪を  
犯した証拠は見当たりません。  
それを考えると、本当に酷い仕  
打ちですね。

**片岡** でも、私の担当の先生が  
とてもよい方で、常に身体のこ  
とを心配してくれました。そし  
て、「頑張らないかんよ」とい  
つも励ましの声をかけてくれ  
た、それが唯一、有難かつたで  
す。

**片岡** 今年、2010年2月23日

**出所後初めて飲んだ  
ホットコーヒーで  
「生き返った」**

からちょうど4年目を迎えたわ  
けですが、今年も現場には行か  
れたのですか。

**片岡** はい、女房と二人でお参  
りさせていただきました。私は、  
この事故で亡くなつた白バイ隊  
員の奥さんや幼い子供たちが、  
本当の意味で一番の被害者だと  
思つています。この事故がこの  
ような騒ぎになつていてること  
を、いつか、物心ついた子供た  
ちが知つたとき、彼らがどんな  
思いを抱えていくのか、今はそ  
れが一番心配なんです。決して、  
亡くなつたお父さんが悪いんじ  
やない、私たちが問題にしてい  
るのは、警察の捜査、警察組織  
の在り方だということを、わか  
つてほしいと思っています。と  
にかく、子供たちがはじめてにま  
つすぐに育つてほしい、それだ  
けを祈っています。

**柳原** 本当は、ご遺族も一緒に  
闘つていただきたいですね。

たでしようね

**片岡** この事故で私が免許を取り消されてから、新聞配達をして生計を立ててきたのですが、収監後は女房と娘が一人で頑張つてくれていました。冬の朝などはまだ暗く、道路も凍つていて心配だったのですが、無事で伝えることはできないというのは、本当に歯がゆかつたですね。10日後。今思つたことをすぐにからは電報は送れないのです。幸い、電報を使うようなことはありませんでしたが。

**柳原** 手紙の数に制限はあるのですか？

**片岡** 私のほうから出せる手紙は1カ月4通までと決められています。便箋の枚数もひとつのか。

**片岡** そうなんです。長男のところに子供が産まれましてね。ちょうどその連絡が入つたとき、支援者の人が50人くらい集まって出所祝いをしてくれていたんですが、おかげでみんなにそのことも報告できて、それが一番嬉しかったですね。健康な身体で家に戻ることができ、その上、家族が一人増えてこの日を迎えるられて、自分ほどの幸せ者はおらんのではないかと思つています。いろいろなことがありました。が、前向きに生きていいらないといけないと。

が、いろいろ規制があつて大変監されるような罪を犯していな  
だつたのですね。でも、考えて  
みれば、片岡さんは刑務所に收  
められたから客観的に見ても、罪を  
犯した証拠は見当たりません。  
それを考えると、本当に酷い仕  
打ちですね。

**片岡** でも、私の担当の先生が  
とてもよい方で、常に身体のこ  
とを心配してくれました。そし  
て、「頑張らないかんよ」とい  
つも励ましの声をかけてくれ  
た、それが唯一、有難かつたで  
す。

**片岡** 今年、2010年2月23日

**出所後初めて飲んだ  
ホットコーヒーで  
「生き返った」**

からちょうど4年目を迎えたわ  
けですが、今年も現場には行か  
れたのですか。

**片岡** はい、女房と二人でお参  
りさせていただきました。私は、  
この事故で亡くなつた白バイ隊  
員の奥さんや幼い子供たちが、  
本当の意味で一番の被害者だと  
思つています。この事故がこの  
ような騒ぎになつていてること  
を、いつか、物心ついた子供た  
ちが知つたとき、彼らがどんな  
思いを抱えていくのか、今はそ  
れが一番心配なんです。決して、  
亡くなつたお父さんが悪いんじ  
やない、私たちが問題にしてい  
るのは、警察の捜査、警察組織  
の在り方だということを、わか  
つてほしいと思っています。と  
にかく、子供たちがはじめてにま  
つすぐに育つてほしい、それだ  
けを祈っています。

**柳原** 本当は、ご遺族も一緒に  
闘つていただきたいですね。

**片岡** 私も、本当にそう思っています。ミカさんには記事などをとおして、ぜひこの気持ちを伝えてもらいたいと思っています。

**柳原** 今後は、再審請求に向け取り組まれる予定ですか？

**片岡** この事故では、警察が証拠を無視して一方的な捜査をし、検察官も、裁判官も、全て「片岡が犯人」という判断を下しました。今現在も警察は、現場写真のネガすら出してこないのです。私は、この事故はただの交通事故では終わらない、組織的な、國もからんだ犯罪だと思っています。あのときバスに乗っていた22人の子供たちのために、そして亡くなつた白バイ隊員の遺族のためにも、真実を訴えていくのが自分の義務だと思っています。

**柳原** ありがとうございます。どうございました。



高知白バイ衝突事故。直後の現場写真

## 徹底検証!

# 冤罪・実刑判決の決め手となつた 「バスのブレーキ痕」は、”本物“なのか？

—— 柳原三佳 ——

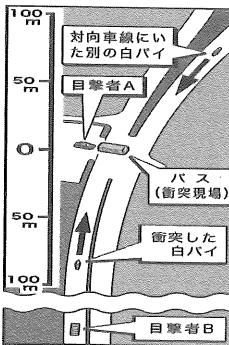
事故から1年後の2007年3月、片岡さんが憔悴しきつた声で語った言葉を、私は今も忘ることができない。

「検察官から黒々とした2本のブレーキ痕の写真を初めて見せられたのは、事故から8ヶ月経つたときのことでした。もう、頭の中が真っ白になりました。あのとき、私は右折するため、交差点の真ん中で止まつて車の流れが途切れるのを待っていました。そこに突然白バイが衝突してきたんです。私は絶対に急ブレーキなんてかけていません。だから、あんな痕跡が残るはずないのです……」

この話を聞いてまず驚いたのは、「なぜ警察は、こんな重要な証拠を、事故直後の現場で片岡さん本人に確認させなかつたのか？」ということだった。

(＊写真①→次ページ)が、実況見分調書の中に貼付されていた問題の写真だ。そこには、バスの前輪がつけたとされる黒いイヤの跡(長さ1~1.2m)と、何かでアスファルトを引っ掻いたような白い痕跡が写つており、写真には直接引き出し線が引かれ、それぞれに「スリップ痕」「擦過痕」と説明されている。

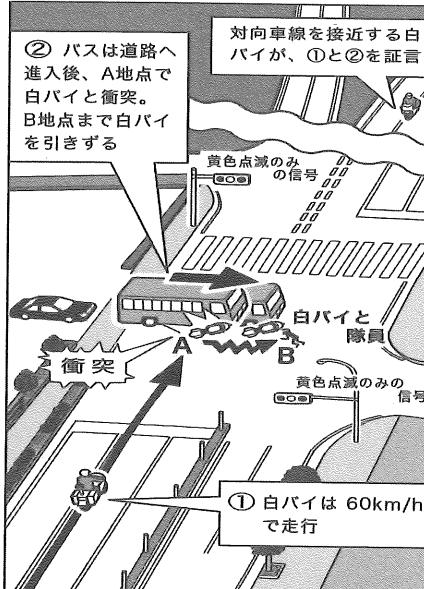
『バスが安全運転を怠つて国道に出て白バイ検察はこの写真を元に、



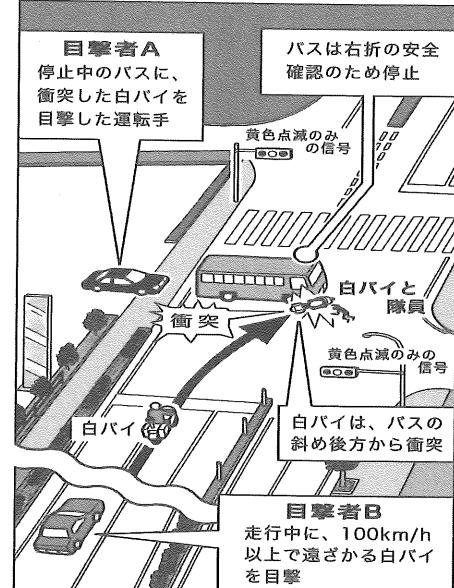
◀事件の概観図

▼警察・検察側と片岡さんの主張には大きな違いがみられる

## 警察・検察側の主張



## バス側の主張



をはねた後、急ブレーキをかけて倒れたバ  
イクを3メートルも引きずった』  
と判断。片岡さんを業務上過失致死で起訴  
したが、片岡さんは、『バスは止まっていた。  
スリップ痕は警察がねつ造したもの』と、  
容疑を全面的に否認した。

しかし、2007年6月、一審の高知地裁（吉多康哉判長）は、

『真摯な反省の情を示すところがない』

として、片岡さんに禁錮1年4月の牢

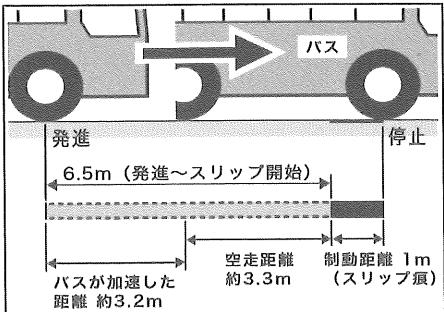
納得できなかつた片岡さんは控訴した

が、一審の高松高裁（柴田秀樹裁判長）も、「衝突直前のバスの速度は時速10キロ。現場に

判決を言い渡した。  
片岡さんはすぐ最高裁へ上告したが、  
とし、一審と同じく、禁錮1年4月の実刑  
務所に収監された。

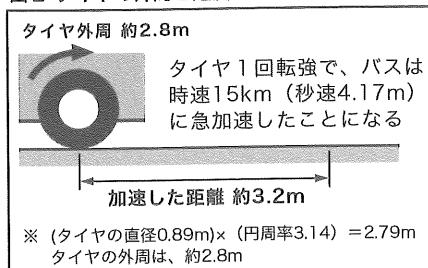
つまり、片岡さんを実刑にした最も重要な  
な証拠は、バスのスリップ痕が写ったこの  
写真だつたのだ。

図1 走行した距離の内訳



イラスト／吉岡昌諒

図2 タイヤの外周と速度



そもそも、この事故には大勢の目撃者が存在しているというのに、なぜことごとく無視されたのか――。

バスの真後ろで乗用車を運転していた中学校の校長は、私の取材に対しても、こう断言していた。

無視された目撃証言

たった1回転で時速15キロに達するような爆発的な急加速をすることが本当に可能だろうか？

常識的に考えて、まず無理だろう。しかも中には遠足旅行を楽しむ22名の中学生たちが乗っていたのだ。

ちなみに、ここではあえて時速15キロという仮定で計算をしたが、逆に速度が遅い場合は、1メートルという長さの痕跡を残せない可能性性が出てくるのだ。

そもそも、ABS（アンチロックブレーキシステム）付きのバスがこんな黒々としたスリップ痕を残すものだろ？

「何物」なのか？

それを検証もせず、ありえない事実認定を行つた裁判官は、片岡さんとその家族の1年4カ月をどう埋め合わせるつもりだろ？

うか。

再審請求の中で明らかになることを期待したい。

「バスは急ブレーーキなんかかけていません。絶対に止まつていきました。ハルさん（片岡さんの愛称）を有罪にした警察や検察、裁判官は絶対におかしいと思います」

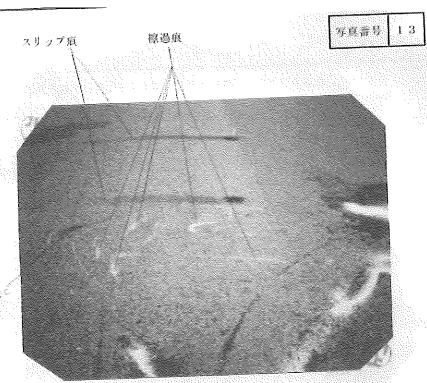
「バスの中に乗つていたある生徒は、ものおじすることなくこう答えてくれた。

「私は私の目の前で起きたことです。私は自分を信じます」

そこで、一・二審の判決文と、その判断の根拠となつた「実況見分調書」、高知県警科学捜査研究所による「算定書」をもとに、このスリップ痕について検証してみたいと思う。

まず、警察が作成した「現場見取り図」によると、バスがレストランの駐車場から発進した地点からスリップ痕がつき始めるまでの距離は、「5メートル」となつてゐる。

バスが発進してから衝突までの距離は前述したように、6.5メートルなので、そこから空走距離（3.3メートル）を差し引くと、残りは3.2メートル。つまり、バスは発進してからわずか3.2メートルで時速15キロまで加速していくなければならないことになるのだ。



#### ①あるはずのないスリップ痕?

判決文では衝突時のバスの速度は時速10キロと認定しているが、科捜研は、乾燥路面について1メートルというブレーキ痕の長さから、直前の時速を10～20キロと判断していたので、その中間をとり、時速15キロを前提にして逆算してみた。